

農作業コツのコツ

【第 12 号】

平成 30 年 7 月 7 日
福光農業改良協議会

砺波農林振興センター 南砺班
福光農業協同組合 営農部

水稻の生育は、平年に比べやや早く推移しているものと見込まれます。今後は、

- ① 早生品種は出穂期まで飽水管理を、中生品種は幼穂形成期頃までに足跡の深さが 3 cm 程度となるよう間断かん水を行います。
- ② カメムシによる斑点米の発生を防ぐため、畦畔の草刈りを徹底しましょう。

◎コシヒカリ、てんこもりの生育状況

(7/3: 福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名	草丈 (cm)		株当たり茎数 (本)		葉齢 (葉)		葉色		幼穂形成期	
	H30	平年	H30	平年	H30	平年	H30	平年	H30 (予想)	平年
コシヒカリ	62.5	60.7	24.7	22.5	11.5	11.3	4.0	4.2	(7/10)	7/11
てんこもり	53.1	53.4	34.7	35.2	12.4	12.1	4.2	4.1	(7/11)	7/13

※調査筆数：コシヒカリ 5 筆、てんこもり 4 筆

1 水管理 ～品種毎にこまめな水管理をするのがコツ～

① 「コシヒカリ」と「てんこもり」

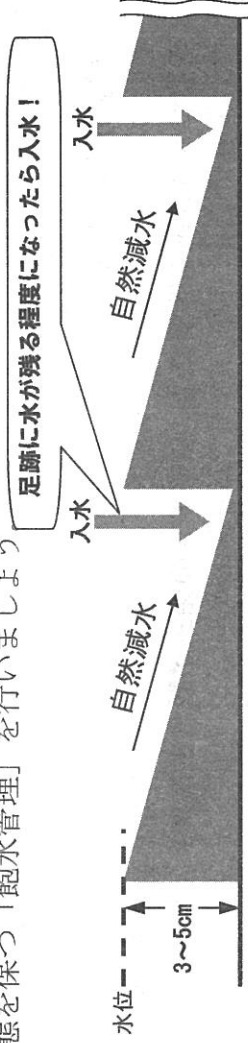
- ・ 湛水と軽い田干しを繰り返す「間断かん水」を行い、幼穂形成期 (7/10～11 頃) までに、足が 3 cm 程度沈むほ場の硬さに仕上げましょう。
- ・ ほ場内に水が溜り軟らかくなっていていところがあれば、適宜、落水し、ほ場を硬くしましょう。
- ・ 幼穂形成期以降は、飽水管理に切替えます。
- ・ 葉色が淡くなっていてほ場が見られますので、乾き過ぎに注意しましょう。



＜間断かん水のイメージ＞

② 「とみちから」と「五百万石」

- ・ 早生品種は既に幼穂形成期に入っています。
- ・ 土壌の乾きすぎに注意して、出穂期 (7/18～19 頃) まで足跡に水が残る程度の湿潤状態を保つ「飽水管理」を行います。

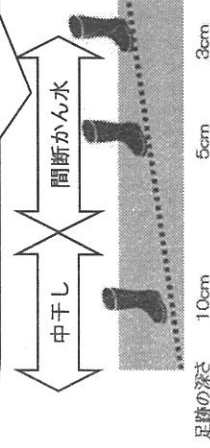


＜飽水管理のイメージ＞

③ 直播

- ・ 「間断かん水」で幼穂形成期頃 (7月中旬) までに足跡の深さが 3 cm 程度となるようにしましょう。
- ・ 葉色が淡くなっていてほ場が見られますので、乾き過ぎに注意しましょう。

ほ場に入った時の足の沈む深さが 3 cm 程度となるようにしましょう



安全・安心な米づくりのため、生産履歴記帳・GAPを確実に取組みましょう！！

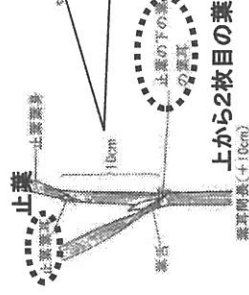
刈り取った草は、用排水路にながさないようにしましょう！！

2 早生（とみちから・五百万石）の出穂前の追肥

◎出穂期予想

品種	幼穂形成期		出穂期	
	H30	平年	H30(予想)	平年
とみちから	6/25	6/25	7/18	7/18
五百万石	6/28	6/27	7/19	7/18

- ・肥効調節（一発）体系・分施肥系ともに、出穂の7日から3日前（7月11～16日頃）、葉色が極端に低下している場合は追肥を行い、出穂後の登熟能力の向上に努めましょう。



出穂5日前の目安

止葉と上から2枚目の葉の葉耳の間隔が10cmになった時期

◎追肥の目安

品種・施肥体系	施用時期(葉色確認時)	葉色	施用する肥料・量
とみちから	出穂の7日から3日前	4. 5以下	追肥3号・ 10kg/10a程度
		4. 2以下	
五百万石	出穂の3日前		

3 てんこもりの穂肥

(1) 肥効調節（一発）体系（基肥：LPss晩生専用）の場合

- ・原則、穂肥は施用しない。
- ・ただし、幼穂形成期以降、葉色が4.0以下の場合、直ちに追肥3号で10a当たり10kg程度施用しましょう。

(2) 分施肥系（基肥：燐加安15号）の場合は、遅れず施用しましょう。

	1回目（幼穂長1mm時）	2回目
施用時期	7月9日頃（5月8日田植え）	1回目の10日後
施用量	10kg/10a	12kg/10a

4 病害虫防除

(1) 畦畔等の草刈りの徹底 ～雑草の穂をなくすことがコツ～

- ・7月7日、8日は「県下一斉草刈り日」です。
- ・雑草の穂が斑点米カメムシの繁殖場所となるため、一斉草刈り後も草の穂が出ないようこまめに草刈りを行いましょう。

(2) 随時防除の実施

- ・葉いもち及び紋枯病の病斑や葉を食害する害虫が見られたら、適期に防除しましょう。
- ・茎数がやや過剰なほ場では「紋枯病」の発生が懸念されます。特に、前年発生した早生品種やてんこもりのほ場では注意しましょう。
- ・前年に「稲こうじ病」が多発したほ場では、必ず防除を行いましょう。

病害虫	防除薬剤名	防除時期	使用時期	使用回数	10a当たり散布量
葉いもち	ブラシン粉剤DL	直ちに	収穫7日前まで	2回以内	3～4kg
	ブラシンフロアブル				1,000倍で60～150L
紋枯病	バリダシン粉剤DL	穂ばらみ期	収穫14日前まで	5回以内	4kg
	バリダシン液剤5				1,000倍で60～150L
稲こうじ病	撒粉ボルドー粉剤DL	穂ばらみ期	出穂10日前まで	—	4kg
	トレボン粉剤DL				3回以内
イネアオムシ イネツトムシ コブノメイガ	パダン粉剤DL	直ちに	収穫21日前まで	6回以内	4kg

詳しくは、「営農とくらし」37～39ページを参照願います。